

# 南インド・ケーララ州における商品作物生産を めぐる都市農村関係についての調査



文学部 3年  
石崎 楓  
インド

2016年9月17日～  
2016年10月10日

## 渡航概要と内容

私は次の9月から10月にかけての一か月間、インド・ケーララ州ワヤナッド県における小規模農家の商品作物栽培について、現地での聞き取り調査を行った。

ケーララ州は商品作物栽培が盛んなインド有数の州であり、そのため現金収入の平均も他州と比べて多い。一方、他州において主要な自給的な穀物栽培は比較的盛んではなく、穀物などの不足分は隣のタミルナドゥ州から現金で購入している。また、商品作物栽培は市場価格に左右される特徴を持つことから、ハイリスクハイリターン農業といえる。実際に過去10年間に二度ジンジャーの価格が暴落した際には、ワヤナッド県において農家の自殺率が著しく増加している（P. Krishnaprasad, 2004）。しかし、先行研究では、自殺した個々の農家への聞き取りからその背景を推測するにとどまっており、ケーララ州全体の農業経営の構造の中に個々の自殺した農家をとらえる試みは行われていない。その試みをしようとする際、コーチンという世界最大規模のスパイス貿易港をもつ都市と丘陵地帯の商品作物栽培農家の経済的な関係を明らかにすることは、地域農業の実態を正確につかみ、人々の生活の変化を明らかにするために重要であると考えたからである。

以上のように、丘陵地帯の農村の生業として重要なコーヒーや茶、アルカナッツやゴムなどの商品作物栽培が、拡大する都市や発展する経済との関係において、どのような経緯で現在に至ったのかを検討することは、今後の南インド農村研究の発展に資すると考える。そこで本研究では、ケーララ州の丘陵地帯において小規模な商品作物栽培を行う農家の経営と生産に注目し、ミクروسケールな調査を通じて、都市化の影響下にある南インドの丘陵地帯農村の動態を明らかにすることを目的とした。

具体的には、最初の2週間は西ガーツ山脈北部ケーララ州ワヤナッド県カニヤンペッタの農村開発NGOに滞在し、パートタイムの職員を通訳につけてもらい、近隣農家に聞き取り調査を行った。カニヤンペッタパンチャヤート（村役場）の農林課においても聞き取り調査を行った。

後半1週間弱は、西ガーツ山脈南部のイドゥキ県クミリーに移動し、カルダモン栽培農家や州政府のスパイス観光農園、紅茶工場などで聞き取り調査を行った。



王国時代直属の兵士であったアネリ族のお母さんと筆者

## 渡航を通じて感じたこと

成果としては、雨季の農村の様子がわかったこと、聞き取りをさせてもらった個々の農家の農業のやり方がわかったこと、またトライバルと呼ばれる指定部族の多いワヤナッド県において、トライバルだけのチャリティー寄宿学校やいくつかの部族の古い集落を視察できたことなどがあげられる。また今回初めて訪れたクミリーは世界最大のカルダモン産地であり、いくつかの小規模農家やトレーダーの話聞くことができた。州政府が運営する観光スパイス農園では、イドゥキ県で栽培されている各種スパイスについて丁寧な説明を受けることができた。現地の農業の実態について、より立体的に把握できるようになったと思う。

一方、調査にあたっては、現地の農村開発NGOのもつ宿泊施設に滞在しながらそのつてを通じて現地農家の家にも滞在し、聞き取り対象を広げていくことを予定していたが、ボスがオリッサ州へ視察にいて一週間不在であったり、NGOの慢性的な人手不足及び資金不足が原因で、多くの協力を得られなかった。また、現地大学の図書館を利用して資料を集める予定であったが、高等機関からの推薦書がないと利用できないと分かった。



土とココナッツリーフでできたトライバルの古民家とソーラーパネル

## 今回の経験をどのように今後生かしていくか

今回はたった1か月の調査であり、受け入れ先の都合もあったため知りたいことをすべて明らかにするのは難しかったが、今回の調査のデータを生かし、帰国後は調査計画を整理しなおし、次の春の渡航に備えたいと考えている。具体的には、事前にネット上で公開されている政府機関による統計データを分析しておくこと、調査のポイントを絞って重点的に行うことに留意したい。

## 大まかな奨学金の使途

- \*渡航費
- \*滞在費
- \*調査費
- \*移動・交通費
- \*海外旅行保険・予防接種
- \*その他準備費用 など



クミリーの小規模農家の娘（官公庁勤務）と1エーカーの畑



カルダモンの選別作業



伝統的なアグロフォレストリーを営む農家



ケララ州は植物の力を利用したインドの伝統医学であるアーユルベータの中心地。お土産売り場には、スパイスだけでなく、アーユルベータの薬も並びます